

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和 8 年 7 月 1 日
札幌管区気象台

サイエンスカフェの開催について

札幌気象業務 150 周年の一環として、8 月 1 日（土）にサイエンスカフェ「札幌の空を見つめて 150 年- データが語る気候の変化 -」を開催します。

○開催概要

日 時：令和 8 年 8 月 1 日（土） 14 時 00 分 ～ 15 時 30 分

主 催：札幌管区気象台

後 援：公益社団法人 日本気象学会北海道支部
一般財団法人 日本気象協会北海道支社
一般社団法人 日本気象予報士会北海道支部
地球ウォッチャーズ気象友の会

会 場：紀伊国屋書店札幌本店 1F インナーガーデン
（北海道札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7）

参加料：無料

申 込：不要

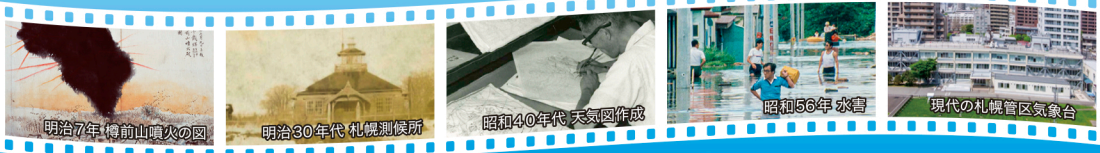
定 員：約 100 名 ※座席に限りがあるため一部立ち見となります
※後日、YouTube にてアーカイブ配信も行います。

出演者：（ファシリテーター）気象予報士 菅井貴子
（ゲスト）北海道大学 大学院理学研究院 教授 稲津將
野外博物館 北海道開拓の村 館長 中島宏一
札幌管区気象台 気象防災部長 関野裕功

○取材希望について

取材を希望される場合は、社名、氏名及び人数を 7 月 29 日（水）までに以下の問合せ先までお知らせください。

問合せ先：札幌管区気象台 総務部 業務課 広報担当
電話 011-611-3217



札幌管区气象台 サイエンスカフェ

札幌の空を見つめて

150年

トーク
セッション

- データが語る気候の変化 -

参加無料

申し込み不要です。
当日、直接会場へ
お越しください。

日時

8/1 2026
土

14:00-15:30 ※受付はありません

場所

紀伊国屋書店札幌本店
1F インナーガーデン
札幌市中央区北5条西5丁目7

定員

約100名
※座席に限りがあるため一部立ち見となります

お問い合わせ

札幌管区气象台総務部業務課
TEL : 011-611-3217

詳しくは

札幌気象業務
150周年
特設サイトへ



www.data.jma.go.jp/sapporo/hp150

主催



札幌管区气象台

後援

(公社) 日本気象学会北海道支部
(一社) 日本気象予報士会北海道支部

(一財) 日本気象協会北海道支社
地球ウォッチャーズ気象友の会

札幌気象業務 150周年にあたって

1876(明治9)年9月1日、前身の札幌測候所で気象観測を始めて、本年で150年を迎えます。長きにわたる地域、関係機関のご支援で札幌で気象業務を継続できたことに心より御礼申し上げます。

当時の開拓使から「荒寒の開拓は、気象観測が必要」とされ、特に農業・漁業と深く係わりました。その後、激動の時代の地域開発に貢献しつつ、1952(昭和27)年の十勝沖地震や2年後の洞爺丸台風など大災害への業務整備や技術革新を進めてきました。

近年では有珠山噴火や北海道胆振東部地震など、多様な自然現象が産業や社会に大きな影響を及ぼしています。こうした中、気象台では情報発信に加え、その利活用の支援にも取り組んでいます。

本年5月29日から運用を開始した新たな防災気象情報では、情報名称に警戒レベルの数字をつけて発表することで、市町村等が発令する避難情報や住民が取るべき避難行動との対応が分かりやすくなりました。150年を迎える気象台が次の時代へ踏み出す大変革の一つです。

今後も“150年の信頼”を礎に関係機関や自治体、地域と連携し、次世代につながる気象業務を推進します。節目の年にあたり皆様へ深く感謝し、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

札幌管区気象台長 酒井 喜敏

出演者プロフィール

ファシリ
テーター

気象予報士
菅井 貴子(すがい たかこ)

テレビなどでおなじみの気象予報士として、天気の仕事みや北海道の気候の特徴をわかりやすく伝えるとともに、気候変動や防災について、私たちの暮らしに身近な視点から発信しています。

ゲスト

北海道大学
大学院理学研究院 教授
稲津 将(いなつ まさる)

気象学を専門とし、気温、気圧、風など天気の仕組みを解き明かすことに加え、産業、防災、環境問題などへの気象データの活用について、幅広く調査・研究しています。

ゲスト

野外博物館
北海道開拓の村 館長
中島 宏一(なかじま こういち)

北海道の近代史を専門に、生活文化や気象観測の背景となる開拓期の暮らしを研究し、野外博物館「北海道開拓の村」を通じて地域の歴史と学びを広く発信しています。

ゲスト

札幌管区気象台
気象防災部長
関野 裕功(せきの ひろき)

気象観測や防災の最前線に長年携わり、気象データを正確に観測し、それらを用いた防災気象情報を発信する仕組みづくりに従事しています。